

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 270 号 2020.10.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者が互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

皆様の健康願い作付けを 千葉県 西山欣宏

暑さが厳しく雨が降らなかった 8 月が過ぎ、9 月に入ってから、暑さも和らぎ、ようやく降った雨で、畑の土も潤いを取り戻しました。おかげさまで、大根、白菜、レタスなどの種まきができ、自然の恵みに感謝いたします。

今年から作付けの種類を増やしました。きっかけは 2 つあり、1 つめは、当初、五三会が 10 月に純喫茶を予定し、(新型コロナウイルスのため延期) 使う食材の中の、生姜、レタス、かぼちゃの作付けのお話があり、取り入れました。

2 つめは、1 年ほど前から野菜の販売を委託しているお店より、「作物の種類がたくさんあるといい」とお話があったことです。このお店は北千住にあり、子育てをしている人たちが多く来店します。最初は月に 1 度の発送で始まり、今では週に 1 回、野菜を送っております。お客様が食を通し、健康な心と体を作り、幸せな生活ができますように願って、続けていきたいと思っております。種類が増える

と、作物ごとに手のかけ方が変わってくるので、大変なところもありますが、一つ一つの作物と向き合っていく時間を作ることで、スムーズに育ち、収穫したときには、なんとも言えないほどの喜びを感じます。草取りや草刈りが間に合わないときは、身内に手伝ってもらい、助かっております。

5 月に薩摩芋のベニアズマの苗を植え付けしました。8 月 29 日に試し掘りしてみると、まだ小さめではありますが、素直に育ってきてくれた感じがしました。おかげさまで、9 月 3 日から販売させていただくことができました。購入された方から、「さつまいも、すっごく美味しかったです」と、うれしい感想を頂きました。日々安心して作付けができることに感謝し、これからも喜びをもって、取り組んでいきます！



コロナ禍のなか取り組める感謝！

千葉県 藤原省吾

今年 1 月、中国武漢のロックダウンから始まったコロナ禍のなか、私の属する旅行業界にその影響が直撃し、3 月ごろより仕事が激減、4 月以降の売上高は前年比マイナス 100%という状況となり、会社は休業状態となりました。ただ給料は支給され、有り難いことに生活に困るようなことにはなりません。そして、有り余る時間を自然農法の取り組みに使わせていただこうと思ひ、3 月以降、9 年前から取り組んでいる畑にほぼ毎日、行くようになりました。

そのおかげで、丹念に細かいところまで作物の面倒をみるのができ、作物の成長を詳しく観察することができました。除草作業も例年滞りがちになり、畑全面草だらけになることが多かったのですが、今年はコンスタントに除草でき、全面草だらけを回避できました。どのような状況になると雑草が出やすいのか、どのタイミングで除草すればいいのか、なんとなく見えてきたところです。種蒔きも、いつもなら私の都合で蒔いていましたが、今年は天気予報、長期的な気温変動、畑の水分状況、種の蒔き時期を鑑みて、「ここだ！」というタイミングで蒔くことができました。それでうまく発芽しないこともあり、まだまだ畑のこと、作物のことを理解できていないんだなと思ひました。



また、普段できなかったことも確実に実行することができました。今年、鎌ヶ谷頒布会で麦茶の販売をさせていただきました。麦茶は六条大麦から作るのですが、栽培期間中はほとんど放置していてもいいくらい手のかからない作物ですが、収穫からは大変手数がかり、毎年栽培しても商品化するまでたどり着かないことが多かったのです。しかし今年は、収穫、選別、洗浄、乾燥、焙煎と、すべての工程を自分の納得いくまで、じっくりと行い、販売することができました。自然農法の先輩にも、「おいしかったよ！」と感想を頂くことができました。

初めてできた取り組みとして、自家採種があります。六条大麦、枝豆、サヤエンドウ、スナップエンドウ、サヤインゲン、モロッコインゲンの種取りをしました。これらの作物は例年以上によくとれ、せっかくの実りを無駄にしたいと思ひ、残ったもので形の良いものを中心に種取りをしました。



そして今年最大の成果は、夏野菜たちの収穫を着実なものにできたことです。私は毎年、種を畑に直播して、トマト、ナス、ピーマン、きゅうりを栽培していますが、なかなか畑に行けないこともあり、収穫までたどり着くことができないことが多く、毎年残念な思いをしていました。今年は種蒔きから時期を見て取り組み、除草の徹底等のお世話も随時行うことができ、結果として、すべての夏野菜を収穫することができました。ピーマンに関しては、直播に切り替えてから初めての収穫となりました。まだまだ課題の多い夏野菜ですが、来年はさらに収穫量が増えるように、今年から準備していきたいと思ひます。

毎年、自分で始めた取り組みなのに、日常の忙しさから、ときには不平不満や、「なぜこんなことをやっているんだろう」と考えてしまうことが多かったのですが、今年は時間を使ってゆっくり、自然農法、畑、作物と向き合うことができ、心に余裕ができ、感謝と感動をもって、畑、作物のお世話を行うことができました。コロナ禍はまだ続き、仕事も今年度いっぱい回復の見込みがなさそうな様子です。今のこの状況は私に与えられた自然農法に向き合う時間ととらえ、しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。

わたしの自然農法活動♪

千葉県 小 5 年 木村 光

今年 4 月からは、コロナウイルスをきっかけに、近所の畑に家族で行くことが増え、うちの庭やプランターでも野菜を育てています。夏の間は、自然農法の枝豆やナス、ピーマン、トマトがとれ、おいしく食べられました。



畑では、私がスイカを育てる担当です。暑くて、蚊や虫が出て、大変なときもあったけれど、スイカが美味しくなるようにがんばって、何度も畑に行きました。初めは、くさばかりで、本当に実ができるか心配だったけれど、あるとき、スイカの小さな実を見つけました。もつとが



んばって育てようと、やる気が出ました。水やりや草取りをして、じゅんちように作物が育ち、あまいスイカが取れました。さっそく切ったら、まっ赤でおいしかったです。よく畑に来ていたので、園芸サークルの広報紙に私と妹の作業している写真のりしました。

1 年生のとき、こどもルームで、てんかぶつ入りのスナック菓子食べて、目がピリピリ痛くなりました。それからは、子供ルームのおやつをやめて、てんかぶつ入りのものをほとんど食べなくなりました。毎日おうちでも、おばあちゃんちでも、できるだけ自然農法のものを使った食事を食べられるので、幸せです。



ければなりません。水道は農具置場近くの井戸を取り、ポンプ脇の蛇口から冷たい水を使って

農園までの
密(密閉、
度な運動空

園芸サークルの広報誌に写真のりした

お知らせ (変更の可能性あります)

- ★ 自然農法頒布会 11 月 26 日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)
- ★ 農産展販売、東中野頒布会 事前申し込み制です。別院の案内をご覧ください。

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>